

第 17 期 pES club step4 大会医学生シナリオ

平成 30 年 6 月 24 日

東京北医療センター 臨床研修センター

長谷川 優

東京北医療センター 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、海老伝巣医科大学附属病院循環器内科の 1 年目後期研修医です。

志美有榮江洲さん（85 歳男性）は、呼吸困難を主訴に先月うっ血性心不全で入院していましたが、検査の結果、心不全の原因は中等度～高度大動脈弁狭窄症（以下 AS）であることが分かりました。このときは心不全に対する治療のみを行い退院しました。その後、食事、飲水を我慢することができずバクバク食べてしまい、その結果再度うっ血性心不全となり、当院に再入院しました。心臓超音波検査で大動脈弁の弁口面積が 0.64 cm^2 、最大弁口速度が 4.2 m/s と前回の入院時と比べて悪化しており、高度 AS と診断されました。そこで担当医であるあなたは以前 pES club の例会で TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）を学んでいたので、「よし！これは勧めてみよう！」と思い実際にご本人に勧めてみることにしました。

あなた：「志美有さんは高度 AS という病気で、TAVI というカテーテル治療が有効なのですが、やってみませんか。」

志美有さん：「…ああ、そうなの？この息苦しいのが治るのだったらしてほしいな。」

そのときは快諾してくれましたが、数日後、心不全の治療が落ち着いたところで、ご家族へ TAVI について説明する日が来ました。しかし、息子さんは何やら不満そうな顔であなたの前に立っていました。

息子さんに、志美有さんの現在の病状と TAVI をやることについて説明して下さい（10 分）。